

女性翻訳家育成・人文系文献の情報発信プロジェクト

① 日本に存在する人文系文献は世界的に見て極めて高度なもの。

③ 高度に知的な日本の人文系文献を正確な翻訳により世界に発信する。

② そういった日本の文献が、外国語に翻訳されていないため、世界はまだ日本の高度で知的な活動の実態を知らない。

④ そういった分野の正確な翻訳ができる人材を奈良県が育成する。

地域からの日本の高度な人文系文献(知的資産) の情報発信

⑤ 奈良県での高度文献翻訳家の育成

⑥ 奈良県からの情報発信

○奈良県による翻訳家育成学校の開設

[カリキュラム]

- (1) 専門分野を決めて理解する能力を養う
- (2) 一次的英訳の訓練
- (3) refinerによる添削
- (4) 原作者との議論

専門分野
経済、文化など

○女性人材を中心に活用

奈良県には教養の高い女性が多く、その潜在的な女性人材を活用し、女性の活躍を促進する。

日本の高度な人文系 の文献の翻訳

文献例

- 古代
古事記、日本書紀、万葉集、性霊集
- 近現代
遠野物語、文明論之概略、
現代政治の思想と行動

専門人材の
蓄積による
情報発信力

- 人文系文献情報サイトの設置
による無料情報発信
(英語、中国語、韓国語、フランス語対応)
※翻訳料は県が負担

- 多くの外国語サイトは、機械翻訳。
○文献、史料等は、信頼性の高い翻訳が必要

英語以外の言語は、相手国の状況に応じて、文献の選択など効果的な手法をさらに研究する。

専門翻訳家の資格認定機関(奈良県、民間)に対する国の認定

[規制改革]

- ① 専門翻訳家の資格認定を行う奈良県、または、奈良県の指定する民間機関に対して、国から認定高度な人文系文献を正確に翻訳できる翻訳家についての資格認定を行う機関を国が認定することにより翻訳の品質についての信頼度を確保する。
- ② 海外の日本文化研究家の招聘の際に、研究、教育、事業開発と幅広い活動が可能となるように、在留資格認定の活動内容についての手続き基準の緩和が望ましい。

[財政措置] 著作権関係など文献の権利関係の対応についての協力と所要経費についての支援

日本経済再生に向けた効果

養成した翻訳家が、ビジネスとしての翻訳事業を行うまでに発展

専門的翻訳家が育成過程で培った文化的知識をもとに、文化コンテンツビジネスへの発展についでいく

- 地域の活性化、地域産業の発展、雇用の創出へ
- 女性のワークライフバランスの確保